

## 市政懇話会（7月27日開催）の委員意見等（総合計画に関するもの）

No	分野	意見等
1	若者定住	市民アンケートの優先すべき施策の2番目に若者定住がきている。若者定住をもっと表に出せないかと思う。若者定住対策が大切である。
2	子育て・若者定住	子育て世代に対する支援や若者定住は総合戦略や基本計画でメリハリをつけて取り組んでほしい。
3	危機管理	全国的に災害や異常気象がたびたび発生している。災害対策は遅れないようにしていくことが大事なので、これが重点になると思う。
4	危機管理	総合計画にも想定外のことも入れないといけないと思う。今後、経済危機も起こるのではと思っている。
5	教育・防災	子どもの教育に力をいれてほしい。また防災の関係もしっかり総合計画にいれてほしい。
6	中心市街地	中心市街地は公共交通機関が充実していて、今後住居として多くの人が住むまちになると思うが、街中に空き物件が多く、入居店舗が生活者のニーズと一致していない。どんな業種が必要なのか、まちの様相を考える必要がある。
7	移住・定住	人口の将来展望は厳しい数字と思う。目標達成には出生数の増加や移住者の増加が必要である。
8	人口	米子市の合計特殊出生率は1.71、鳥取市は1.50で、鳥取市は米子市と何が違うのか。今回の総合計画はいかに人口を増やしていくのかが重要になると思う。
9	その他	全体的に政策と施策のバランスはいい。目指す将来像について、鳥取市は暮らしやすいという実感を市民は感じているの、その強みを伸ばしていくことが必要と思う。
10	その他	将来像のフレーズはとてもいいと思う。基本構想よりも基本計画に期待している。市民の期待に応えるようなものを組み立ててほしい。
11	その他	基本構想の世帯数の出典に国勢調査と記載してほしい。

地域振興会議（7月開催分）の委員意見等（総合計画に関するもの）

No	分野	意見等	地域振興会議
1	子育て	人口減少対策に決め手はないと思う。実際に子どもの多い家庭から色々聞いてみるとよいのではないか。	河原
2	子育て	子育ては昔に比べると支援が手厚くなった。そういったことを若い世代にしっかりと伝えることも、出生数の増やす取組みとして必要ではないか。	河原
3	若者定住	進学や就職等で県外に出ていく人たちが市に留まれる魅力ある仕事づくりが一番必要だと思う。また、県外から市内の大学に入学した人が、卒業後に市内での就職や起業を支援したり、高校生の市内就職を支援するなど、鳥取市に永住できるような施策を考えてほしい。	用瀬
4	若者定住	大学生は県外就職が多いが、地元に残れと言っても受け皿がない。高付加価値の仕事を市に持ってきたり、起業する人への支援など、小さい自治体ならではのフットワークで、お金のかけ方を工夫してほしい。	河原
5	若者定住	大学を卒業した人が地元にとどまれるような仕事づくりが必要と思う。	国府
6	若者定住	テレワークなど都会から離れていても仕事ができる方法もあるので、Uターン等の増加に取り組んでほしい。	国府
7	若者定住	鳥根県の地元に戻ろうという呼びかけCMをよく見かける。鳥取市もテレビコマーシャル等で、県外に出た若者にPRをするような取り組みをしてはどうかと思う。	国府
8	移住・定住	テレワークで仕事ができる人達が地方で生活することを考えている。このチャンスを生かしてほしい。	河原
9	移住・定住	新型コロナウイルスで東京一極集中が問題化してきた。光回線等、遠く離れていても家で仕事ができる環境を大々的に取り入れて注力することが大切と思う。	用瀬
10	移住・定住	企業誘致に成功しても、労働者が足りないということが起きている。移住者を増やす施策に力を入れる必要がある。	河原
11	移住・定住	移住・定住者を呼び込むために、住むのは鳥取市、たまに遊ぶのは東京という生活スタイルを推してはどうか。	河原
12	中山間地域	農業を引きつぐ若者がいなくなり、耕作放棄地が増えており、耕作放棄地対策に取り組んでほしい。	河原
13	中山間地域	市街地と中山間地域の関係を構築していきたい。市街地と中山間地域の共存共栄を目指すような施策が必要と思う。	佐治
14	中山間地域	中山間地域に住むことにメリットがあるような施策を考えてほしい。	佐治

No	分野	意見等	地域振興会議
15	中山間地域	中山間地域は少子高齢化で賑わいを持つのもなかなか難しいので、そこに住む人がいきいきと元気に暮らすという視点も加えてほしい。	用瀬
16	中山間地域	財源がなくなったら終わりではなく、市として長期的な視点で中山間地域の支援を考えてほしい。	佐治
17	中山間地域	市全体のでいい部分もあれば、地域特性を踏まえたほうがいい部分もあると思うので、地域のことも考えて取り組んでほしい。	佐治
18	中山間地域	自治会単位、集落単位、さらには農業も団体や集落で幸せになれる要素も組み込んでいただきたい。	用瀬
19	中山間地域	自治体単位で幸せに暮らしていくような、自治会での取り組みが必要と思う。そこに住んでいる人がいきいきと暮らす視点を計画に入れてほしい。また団体農業にもしっかり取り組むことが必要と思う。	国府
20	人口	地域別の人口推計を出したうえで、それぞれの地域づくりをしていくべきと思う。また年少人口は高校生まで、高齢者は75歳以上で、その間が生産年齢人口とした方が実態にあっているように思う。地域間競争で鳥取市は頑張ってほしいし、人口目標はもっと夢のあるものでもよいのではないかな。	河原
21	人口	機械化や自動化で生産性が上がってきているので、人口が減っても以前と同じような付加価値を生むこともできるようになってきている。人口減少をあまりマイナス思考で考えない方がよいのではないかな。	河原
22	情報化	コロナの収束が見えないなか、鳥取のどこにいても仕事ができるように、情報化・デジタル化を進めていくべき。	河原
23	その他	第10次総合計画を実績を踏まえて、次期計画に取り組んでほしい。	福部
24	その他	市全体の大枠のデータだけでなく、支所単位のデータも必要と思う。	福部
25	その他	新型コロナウイルス感染症であらゆる分野の活動が止まってしまっている。市は今すべき施策に前向きな姿勢で取り組んでほしい。	用瀬
26	その他	記載は平易な表現で市民に分かりやすいものとしてほしい。	河原
27	その他	コロナ禍で、これまでの価値観や固定観念が代わっていくので、市政も柔軟に変えていかなければならない。今の子どもたちが大人になった時代のためにも、SDGsの視点を取り入れて取り組んでほしい。	河原
28	その他	全国どの自治体でも作っているような計画・戦略ではなく、鳥取市ならではのものを作ってほしい。	河原

令和2年度地方創生ストリートミーティング〔農林水産業の若者編〕  
参加者意見等（総合計画に関するもの）

No	分野	意見等
1	農業	種をまいて、芽が出て、肥料をやって、水を撒いて、作物が取れるという一連の作業をするなかでこれが農業だと実感できるので、私は農業が大好きである。しかし、農業に若い人少ないというのは、結果がすぐ見えないからではないだろうか。
2	農業	農業が楽しいかといえば、今はあまり楽しくない。理由は2つ。 1つ目は、新規就農者はしなくてはならないことがとても多い。雇用を少しずつ進めているが、作業が多くて仕事が回らないこと。 2つ目は、作物を作るためのハウスを建てるにはお金が必要だが、このお金を生み出すだけの規模を作るにはまたハウスを建てる必要があるというジレンマがある。 人を増やして自分が楽になってくると、楽しくなるのかなと思っている。
3	農業	農業を始めた理由は3つ。 1つ目は、自分は農家の息子だが、祖父母からは農業はもうからないと聞いていた。しかし、やり方が間違っているのでは考えていたこと。 2つ目は、儲けている農家があることが分かり、やり方しだいであることが分かってきたこと。 3つ目は、自分は都会からUターンしてきたが、都会は息苦しく精神をすり減らす。しかし、鳥取は自然があふれており、心惹かれて帰ってきた。
4	農業	人口が減っていく中で、地方に雇用を生み出すとか、大規模な法人を作って中山間地を管理するとか、本当に現実的なのかと思っている。自分は専業農家として農地を守りたいと思っているが、兼業の方にも本気で参加していただかないと農地が荒れていくのではないかとと思っている。
5	農業	鳥取県内で売ると首都圏で売るとでは、同じものでも単価が倍近く違う。通販には取組んだ方がいいと思う。
6	農業	鳥取県の農産物はすごくいいと思う。どんどん通販で農産物を出していけたら、鳥取県の農産物はおいしいんだという認識が広がっていくと思う。
7	農業	自分は通信販売で東北の野菜や魚のパックを購入しているが、一緒に小冊子が送られてくる。生産者のことが徹底的に取材がされていて、どのような方がどのように作っているのか、どういったストーリーがあるのかということがわかるものとなっている。通信販売で取寄せをする人は、自分の食べるものに対する意識も高いので、生産者の顔が見えるということに需要があると思う。
8	林業	山を管理するうえで、もう少し機械化できたら楽になると思う。体制が人に頼り過ぎているように思う。自分なりにどうしたらそれが解決するのかと思いながら仕事をしている。
9	林業	地元の人や子どもたちが遊べる山が増えたらいいなと思う。東部森林組合では、竹林整備をした後に、子どもたちに植樹をしてもらっている。植樹をしてくれた子どもたちは、その後の樹木の様子を気にして声をかけてくれたり、喜んでいることがわかる。こういった形で、もっと山に人が入るようになれば、荒れている山は無くなっていくのではないかとと思っている。

令和2年度地方創生ストリートミーティング〔農林水産業の若者編〕  
参加者意見等（総合計画に関するもの）

No	分野	意見等
10	水産業	今後の状況を良くしていくにはインターネットなどITの活用は必須と思う。他県の成功事例を調べたり、成功者とSNS等を通じて知り合いになることもでき、以前と比べて情報を得やすい環境にある。他県でもっと漁獲量が多い違うやり方をしている情報を取り入れたりすることができる。
11	農業・水産業	市内のどこからでも超高速インターネット接続ができるようになる「全市域ひかり化」は、ネット販売など販売方法が広がり、また情報収集にも活用できるので、大変ありがたい。
12	農業・水産業	農業でも漁業でも、個人で薄利多売の商売はできないので、単価を高めていくことが必要と思う。6次産業化などチャレンジしていくことが大切と思う。